

一般会計 歳入

132億2,525万円(2.2%)

※()数字は前年増減比

地方交付税	55億7,294万円(0.5%)	全国どの市町村でも一定水準の行政サービスが受けられるよう国から一定基準により交付されるもの
町 税	25億5,223万円(△0.1%)	町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税など
町 債	14億2,310万円(△10.7%)	長期的な借入金
国庫支出金	11億8,345万円(34.4%)	特定の事業のために国から支出されるお金
県 支 出 金	9億6,858万円(0.7%)	特定の事業のために県から支出されるお金
繰 入 金	3億2,961万円(9.3%)	基金の取り崩しや特別会計からのもの
繰 越 金	2億2,469万円(26.0%)	前年度からのお金
諸 収 入	1億4,580万円(17.7%)	他の収入科目に含まれないもの(延滞金・雑入など)
そ の 他	8億2,485万円(3.9%)	譲与税・分担金・負担金・使用料・手数料など

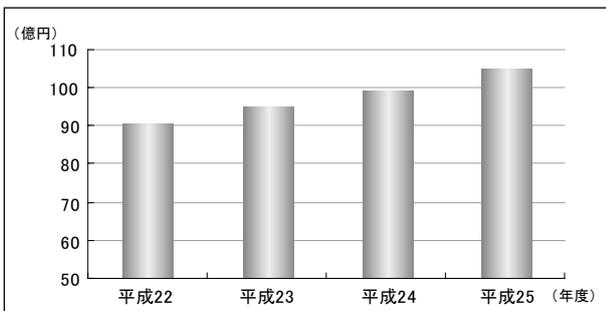
平成25年度 一般会計決算概要

■歳出
枝川保育園・幼稚園建築費の減額などにより教育費が2億560万円、償還終了などにより公債費が1億1635万円それぞれ減額となったものの、電算機器の更新により総務費が2億2029万円、仁淀消防救急無線デジタル化負担金の皆増などにより消防費が1億7781万円それぞれ増額したことなどにより、前年度より1億2972万円の増加となりました。

■歳入
町債では過疎債・合併特例債の減により1億7140万円、町税では固定資産税の減額などにより358万円、自動車重量税の減額による地方譲与税で642万円のそれぞれ減額となりましたが、地方交付税で2563万円、学校施設環境改善交付金などの増加により国庫支出金で3億275万円、ふるさと納税の増加により寄附金で3263万円それぞれ増加したことなどにより、前年度より2億8753万円の増加となりました。

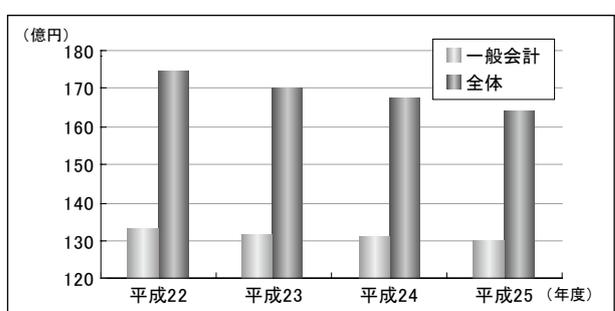
平成25年度一般会計の決算、歳入総額は132億2525万円、歳出総額は126億9875万円、歳入歳出の差し引き額は5億2650万円となっており、翌年度へ繰り越すべき財源2億2664万円を差し引いた実質収支額は2億9986万円の赤字となり、前年度よりも1228万円の増加となっています。

基金(貯金)の状況



将来の財源不足や支出に備えるため基金という形で貯金をしています。
財政調整的な基金や施設等整備基金の積み立てにより前年度と比べ6億4,311万円(6.5%)増額し、残高は105億3,980万円となりました。

町債(借金)の状況



町債残高は前年度と比べ一般会計では1億2,255万円(0.9%)、町全体(公営企業除く)では2億6,202万円(1.6%)の減少となりました。
財政状態を示す実質公債費比率は12.2%で前年度より1.4ポイント下がりました。